

製品名: バックスウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe03742

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 21 kDa; Observed MW: 21 kDa

抗原情報

遺伝子名	BAX
別名	Apoptosis regulator BAX; BAX; Bcl-2-like protein 4; BCL2-associated X protein; Bcl2-L-4; BCL2L4
遺伝子 ID	581
SwissProt ID	Q07812
免疫原	ヒト Bax の合成ペプチド

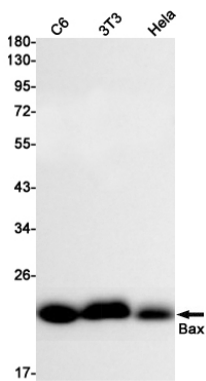
背景

Baxは、ミトコンドリアストレスを介した細胞誘導性アポトーシスの重要な構成要素です。アポトーシス刺激を受けると、Baxはオリゴマーを形成し、細胞質からミトコンドリア膜へと移行します。Baxはミトコンドリア膜上の孔タンパク質との相互作用を通じて膜透過性を高め、ミトコンドリアからのシトクロムcの放出、カスパーゼ9の活性化、そしてアポトーシス誘導のためのカスパーゼ活性化経路の開始につながります。

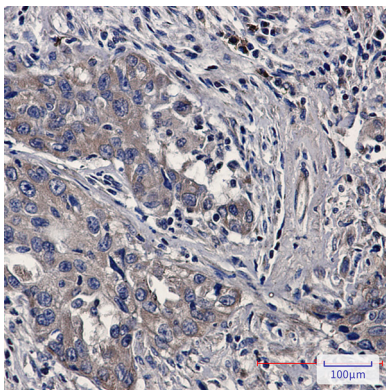
研究分野

細胞生物学

画像データ



Bax 抗体を使用した C6、3T3、Hela 溶解物中の Bax のウェスタン ブロット分析。



Bax 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。